

2023 年度 「高等学校 新編言語文化」 シラバス

科目	言語文化	単位	2	学年	1
使用教科書	高等学校 新編言語文化(第一学習社)			副教材等	新編言語文化 学習課題集(第一学習社)

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
---------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

月	時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	評価の観点			評価方法
				a	b	c	
4	2	島の少年一船 (内海隆一郎)	<ul style="list-style-type: none"> 描写に表れた登場人物の心情をそれぞれの視点に立って読み解き、少年を中心に置いた小説の展開を捉える。 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 叙述を基に登場人物の心情や人物像を捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 比喩や方言といった表現の効果について、学習課題に従って評価しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題の提出 定期考査
4	2	よろこびの歌 (宮下奈都)	<ul style="list-style-type: none"> 「私」と周囲との意識のずれが何から生じているのかを捉えながら、「私」の心情の動きを読み取る。 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 読書の意義と効用を理解する。 叙述を基に主人公の心情を捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。 叙述された状況や心情を捉え、学習課題に沿って、異なる視点から一部を書き換えようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題の提出 定期考査
5	1	古文の学習	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 定期考査
5	1	鳩と蟻のこと 古文を読むために1	<ul style="list-style-type: none"> 話の内容を口語訳で押さえながら、古文特有の仮名遣いと言葉に慣れる。 『イソップ物語』の翻訳という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主として歴史的仮名遣いについて、文語のきまりを理解する。 歴史的仮名遣いの読み方を積極的に理解し、繰り返し音読しようとしている。 粘り強く口語訳と対照して説話の内容を捉え、学習課題に沿ってわか 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題の提出 定期考査

月	時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
5			ったことを伝え合おうとしている。				
5	1	一休ばなし 古文を読むために2	<ul style="list-style-type: none"> 話の展開と内容を押さえながら、古文特有の仮名遣いと言葉に慣れる。 仮名草子という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主として品詞の種類について、文語のきまりを理解する。 積極的に説話を読み味わい、叙述に基づいて機知の内容を説明しようとしている。 積極的に古文特有の言葉を理解し、学習の見通しをもって、単語に分けようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題の提出 定期考査
5	1	〔古典のしるべ〕平仮名の誕生	<ul style="list-style-type: none"> 時間の経過による文字の変化について理解する。 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に興味・関心を深め、それを継承していくことについて強く自覚をもとうとしている。 	○		○	授業態度 発問評価
5	1	漢文の学習	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 これからの学習に見通しをもって、我が国の言語文化に大きな影響を与えた漢文に興味・関心を深めている。 	○	○	○	授業態度 発問評価
6	3	訓読に親しむ 漢文を読むために	<ul style="list-style-type: none"> 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。 故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 訓読のきまりを理解する。 これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。 日常的に使う故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 定期考査
6	1	道程（高村光太郎）	<ul style="list-style-type: none"> 近代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品に示された作者の思いを読み取る。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 近代詩の表現の技法とその効果について理解する。 繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 詩の展開や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 定期考査
6	1	小景異情（室生犀星）	<ul style="list-style-type: none"> 文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の思いを読み取る。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 詩の構成や表現の仕方を吟味し、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題の提出 定期考査 オ
6	1	六月（茨木のり子）	<ul style="list-style-type: none"> 現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品にこめられた世界への思いを読み取る。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 題名や内容に注意して、この詩で理想とする世界についてまとめようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 定期考査
6	1	I was born（吉野弘）	<ul style="list-style-type: none"> 散文詩に親しみ、「I was born」という言葉がどのようなイメージで捉えられているかを読み取る。 「僕」「父」の心情など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 「僕」の理解したイメージを自分事として共有し、考えたことを積極的に話し合おうとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 定期考査
7	2	万葉・古今・新古今	<ul style="list-style-type: none"> 調べや修辞技法に留意しながら、和歌の鑑賞のしかたを理解する。 和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解す 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 定期考査

月	時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
7			<ul style="list-style-type: none"> 我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 主として和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見通しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 作品に表れている情景や心情を粘り強く読み取り、これまでの学習を生かして和歌を鑑賞しようとしている。 	○ ○		○ ○	
7	2	〔言語活動〕 古典の和歌を現代の言葉で書き換える（俵万智）	<ul style="list-style-type: none"> 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合う。 我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 『伊勢物語』との関係を踏まえながら本文を読み、解釈を深めようとしている。 古典の和歌を現代の言葉で書き換える意義を積極的に理解し、学習課題に沿って、古典の和歌を現代の言葉で書き換えようとしている。 	○	○ ○		授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 和歌の提出
7	2	奥の細道 〔古典のしるべ〕『奥の細道』と和漢の文学	<ul style="list-style-type: none"> 俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 我が国の言語文化に特徴的な俳諧の表現の技法とその効果について理解する。 「古典のしるべ」と読み合わせて、我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 文語のきまりを理解する。 和漢の古典を取り入れて成立した作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深めようとしている。 俳諧紀行文の特徴を積極的に理解し、学習課題に沿って作者の感じ方や考え方を捉えようとしている。 	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題の提出 定期考査
7	3	五十歩百歩 矛盾 狐借虎威	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 作品の歴史的・文化的背景を理解する。 訓読のきまりを理解する。 故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。 	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 成果物の提出 定期考査
7	1	〔言語活動〕 故事成語の由来と意味を調べる 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じて調査する。 故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 調査とまとめ 成果物の提出
9	2	羅生門（芥川龍之介）	<ul style="list-style-type: none"> 下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 読書の意義と効用を理解する。 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、学習課題に沿って、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。 典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。 	○ ○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題の提出 定期考査
9	2	ほねとたね（川上弘美）	<ul style="list-style-type: none"> 主人公と男子二人の人物像を会話や動作から丁寧に把握し、人との関係が主人公にもたらした心情の変化を読み取る。 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 		○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題の提出 定期考査

月	時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
			<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・段落構成や展開を積極的に把握し、学習課題に沿ってまとめようとしている。 ・主人公の視点や観点を理解し、心情の変化を読み取るようとしている。 	○ ○		○ ○	
9	2	児のそら寝 古文を読むために3	<ul style="list-style-type: none"> ・現代に通じる人間のありようを味わいながら、古文の世界への親しみを深める。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 ・時間の経過による言葉の意味の変化を理解し、学習の見通しをもって調べたり説明したりしようとしている。 	○ ○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題の提出 定期考査
10	2	なよ竹のかぐや姫	<ul style="list-style-type: none"> ・現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深める。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として動詞の活用について、文語のきまりを理解する。 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって動詞の活用表を作成しようとしている。 	○ ○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題の提出 定期考査
10	1	〔言語活動〕 古典から受け継がれる話の由来を調べる	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・課題に応じて調査する。 ・言語文化の継承に関心と自覚をもち、粘り強く話の由来について調べようとしている。 		○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ
10	5	唐詩の世界 漢詩のきまり	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・漢詩のきまりを進んで理解し、学習の見通しをもって漢詩を鑑賞しようとしている。 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。 	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 定期考査
10	1	日本の漢詩 漢詩のきまり	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、人への思いがどのように表現されているかを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・今までの学習を生かして漢詩のきまりを押さえ、よまれた心情を積極的に説明しようとしている。 ・我が国の文化に漢詩が浸透していたことに興味を持ち、中国の文化との関係に理解を深めている。 	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出 定期考査
11	1	大切な言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって短歌文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。 	○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題集の提出 成果物の提出 定期考査
11	1	手毬唄	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、俳句の表現の技法とその効果について理解する。 ・俳句の形式や表現を進んで理解し、学習の見通しをもって俳句文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。 	○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題の提出 定期考査
11	1	〔言語活動〕 折句を用いて短歌を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・折句を用いて、感じたことを短歌で表す。 ・我が国の言語文化に特徴的な折句の表現の技法とその効果について理解する。 	○	○		授業態度 発問評価 短歌の提出

月	時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
			<ul style="list-style-type: none"> 進んで折句の技法と伝統を理解し、学習課題に沿って折句を用いて短歌を創作しようとしている。 			<input type="radio"/>	
11	2	徒然草 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> 作者の関心事を自由につづった文章を読んで、古文に表れたものの見方・考え方の一端に触れる。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 章段の構成・展開や表現の仕方などの特徴を理解し、学習の見通しをもって評価しようとしている。 本文中に表れた教訓を積極的に読み取り、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題の提出 定期考査
11	2	方丈記 〔歴史の窓〕 〔古典のしるべ〕和漢混交文	<ul style="list-style-type: none"> 当時の世相を反映した文章を読んで、古文に表れたものの見方・考え方の一端に触れる。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。 最後の一文の意味するところを粘り強く文脈の中で捉え、学習課題に沿って考えたことを発表しようとしている。 文体の歴史的背景を踏まえて本文を読み、学習の見通しをもって表現や描写・文体の特色を評価しようとしている。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題の提出 定期考査
12	6	枕草子 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> 当時の人々の生活感覚を反映した文章を読んで、古文に表れたものの見方・考え方の一端に触れる。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 主として助動詞について、文語のきまりを理解する。 学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。 作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 学習課題の提出 定期考査
12	1	両頭蛇	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の散文作品に触れて読みに慣れるとともに、文章中に示された教えを読み取る。 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 訓読のきまりを理解する。 進んで文章を読み、内容や展開を説明しようとしている。 「陰徳」や「天」など、本文に表れているものの見方を粘り強く読み取り、調べたことを発表しようとしている。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題の提出 定期考査
12	1	梟逢鳩	<ul style="list-style-type: none"> 漢文の散文作品に触れて読みに慣れるとともに、鳥の話に託された寓意を読み取る。 文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 訓読のきまりを理解する。 進んで文章を読み、内容や展開を説明しようとしている。 話にこめられている寓意を粘り強く読み取り、教訓を説明しようとしている。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 調査とまとめ 学習課題の提出 定期考査
1	2	よだかの星（宮沢賢治）	<ul style="list-style-type: none"> 作品に含まれる寓意を理解し、主人公の置かれた状況から生じる心理や行動をもとに人間の生き方を考える。 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 冒頭の一文が果たす役割を文脈の中で捉え、考えたことを積極的に発表しようとしている。 作品の寓意を積極的に理解し、「生きる」ことについて考えたことを進んで発表しようとしている。 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告 学習課題の提出 定期考査
1	2	鏡（村上春樹）	<ul style="list-style-type: none"> 恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉 	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	授業態度 発問評価 指名音読

月	時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
1			<ul style="list-style-type: none"> える。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 読書の意義と効用を理解する。 人の内面に潜む恐怖の正体を進んで考察し、解釈したことを説明しようとしている。 恐怖体験を語る小説における、暗示や比喩の効果について、積極的に評価しようとしている。 	○ ○ ○	○	○	発表・報告 学習課題の提出 定期考査
1	2	わたしはマララ (マララ・ユスフザイ)	<ul style="list-style-type: none"> 不合理な暴力と闘う女性の体験と信念を知り、日本以外の世界の出来事にも興味・関心を持つ態度を養う。 自伝的小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 結びの文章に表れた筆者の信念を文脈の中で捉え、考えたことを積極的に話し合おうとしている。 紛争や教育差別などの問題に興味を持ち、本文の学習を生かして、調べたことを発表しようとしている。 	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 発表・報告 調査とまとめ 学習課題の提出 定期考査
2	2	伊勢物語 古文を読むために4 〔歴史の窓〕	<ul style="list-style-type: none"> 和歌を含む物語の読み取りを通して、古文への興味・関心を広げる。 歌物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 課題に応じて調査する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 主として形容詞の活用と助動詞について、文語のきまりを理解する。 歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 文化的背景を十分に理解し、作品に表れた美意識について、考えたことを積極的に伝え合おうとしている。 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題の提出 定期考査
2	2	人形浄瑠璃文楽 ―三業一体の技	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて興味を広げる。 我が国の伝統芸能について書かれた文章を読み、関連する事項について調べたことを整理して説明資料にまとめ、発表する。 言葉には、文化の継承を支えるはたらきがあることを理解する。 我が国の伝統芸能について書かれた文章を積極的に読み、自分の考えをもとうとしている。 継承されてきた言語文化に興味をもち、学習課題に沿って、調査した内容を説明資料にまとめようとしている。 	○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 調査とまとめ
3	1	祭りの笛（三浦哲郎）	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統行事について書かれた文章を読んで、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解する。 随筆という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 「言語活動」への見通しをもって随筆を読み、我が国の伝統行事についてもその見方を深めようとしている。 粘り強く随筆を読み、学習課題に沿って、その構成・展開や表現について評価しようとしている。 		○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 調査とまとめ
3	2	〔言語活動〕「祭り」をテーマに随筆を書く	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統文化に関する題材を選んで、随筆に書き表す。 伝統文化に関して積極的に題材を集め、集めた題材のよさや味わいを吟味しようとしている。 「祭りの笛」を振り返り、構成や表現に工夫を凝らして随筆を書こうとしている。 		○	○ ○	授業態度 発問評価 随筆の提出

2023 年度 「高等学校 新編現代の国語」 シラバス

科目	現代の国語	単位	2	学年	2	
使用教科書	高等学校 新編現代の国語(第一学習社)	副教材等	新編現代の国語 学習課題集(第一学習社)			

学習の到達目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
----------------	--

評価の観点		
a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもって言葉を効果的に使おうとしている。

月	時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
4	6	「未知」はいくらでもある(宮内悠介)	<ul style="list-style-type: none"> ・実体験を踏まえて提示された「未知」に対する筆者の捉え方を理解し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・世界の捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出
5	4	言語としてのピクトグラム(本田弘之)	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明のしかたを工夫する。 ・日本のピクトグラム掲示の特徴について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・言葉には、認識や思考を支えるはたらきがあることを理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って要旨をまとめようとしている。 ・積極的に写真を伴う文章を読み、解釈したことをまとめて発表しようとしている。 ・学習課題に沿ってピクトグラムの問題点や修正案を考え、積極的に発表しようとしている。 	○	○	○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題の提出 定期考査

月	時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
6	5	身近な製品の取扱説明書を作成する	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を的確に説明する方法を理解する。 ・情報を相手にわかりやすく説明する方法を理解する。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に身近な製品の取扱説明書を書こうとしている。 ・書いた説明書を進んで批評し合い、批評を踏まえて文章の構成・展開や表現を工夫しようとしている。 		○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 調査とまとめ 取扱説明書の提出
6	5	話し方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場所に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 ・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 ・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。 	○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 学習課題の提出 定期考査
7	6	スピーチで自分を伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 ・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。 		○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 評価シート
9	6	書き方の基礎レッスン	<ul style="list-style-type: none"> ・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・接続表現の種類や用法を理解する。 ・比喩などの表現技法を理解する。 ・進んで表記・表現の基本ルールを理解し、正確で分かりやすい文を書こうとしている。 ・学習の見通しをもって接続表現の種類や用法を理解し、適切な接続表現を選ぼうとしている。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。 	○ ○ ○		○ ○ ○	授業態度 発問評価 学習課題の提出 原稿
10	6	社会に対する意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文とはどういうものかを理解する。 ・自分の経験の中から意見を導き出せるようになる。 ・意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。 ・教科書の例を参考に、説明や表現の仕方を工夫して、積極的に意見文を書こうとしている。 ・目的に応じてテーマを決め、集めた情報の妥当性や信頼性を粘り強く吟味しようとしている。 ・書いた意見文を進んで批評し合い、批評を踏まえて論理の展開や表現の仕方を工夫しようとしている。 		○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 意見文の提出 定期考査
11	5	イースター島になぜ森がないのか(鷲谷いづみ)	<ul style="list-style-type: none"> ・イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・持続可能性について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 ・個別の事例を一般化する文章の効果的な組立て方を理解し、学習課題に即して解釈を深めようとしている。 ・本文の解釈を踏まえて持続可能性について考えを深め、積極的に考えたことをまとめようとしている。 ・本文を読んで考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。 		○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 話し合い 調査とまとめ 学習課題の提出

月	時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
11	4	図書委員会のポスターの掲示内容を検討する	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた資料と会話文を関連づけながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を学ぶ。 異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめる。 事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する方法を学ぶ。 読み手からの助言などを踏まえて、目的に応じて書かれているかを確認、書き直す手順を学ぶ。 異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。 複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、文章の構成に注意してまとめようとしている。 		○ ○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告
12	5	十六歳のとき（星野道夫）	<ul style="list-style-type: none"> 人生の岐路となった筆者の旅を追体験することにより、世界にはさまざまな出会いがあることを知る。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 人生の岐路について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 本文を粘り強く読み、個別の事例と筆者の主張との関係を理解しようとしている。 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題の提出 原稿 定期考査
12	4	相手に伝わる案内をする	<ul style="list-style-type: none"> 目的に沿って的確に案内する方法を理解する。 相手に配慮しながら案内する方法を理解する。 相手や場の状況を押さえて案内することができる。 今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的に案内役を演じようとしている。 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 発表・報告 話し合い
1	4	理想の修学旅行をプレゼンする	<ul style="list-style-type: none"> 情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 効果的なスライドの作り方を理解する。 今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。 進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 協働して資料や機器を用い、相手の理解を得られる工夫をしようとしている。 積極的にプレゼンテーションを聞き、評価の観点に沿って評価しようとしている。 	○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	授業態度 話し合い 発表・報告
2	3	論理分析【対比】 「間」の感覚（高階秀爾）	<ul style="list-style-type: none"> 文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 論理の展開を粘り強く分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。 	○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 学習課題の提出
2	4	「弱いロボット」の誕生（岡田美智男）	<ul style="list-style-type: none"> 「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 粘り強く段落と段落の関係を押さえ、学習課題に従って本文の構成を捉えようとしている。 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 指名音読 発表・報告 学習課題の提出 定期考査

月	時数	学習項目	学習内容及び評価の観点	a	b	c	評価方法
			<ul style="list-style-type: none"> ・動画と本文を比較して、わかったことを積極的に説明しようとしている。 ・本文を読んでロボットと人間との関係性について考えを深め、表現を工夫して自分の考えを書こうとしている。 			<input type="radio"/> <input type="radio"/>	
3	3	合意形成のための話し合いを行う	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの進め方のルールを理解する。 ・論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いを実践する。 ・実生活における合意形成のための話し合いの重要性を理解し、積極的に話し合いの進め方を理解しようとしている。 ・今までの学習を生かして相手・目的・場面を考慮し、話し合いによって結論を出そうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的に話し合いを振り返り、今までの学習を生かして評価しようとしている。 		<input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	授業態度 発問評価 話し合い 発表・報告

2023年度 国語科シラバス

教科名【国語】 科目名【現代文A】 教科書【現代文A（第一学習社）】

単位数【2】 対象学年【3年】

学習の到達目標

近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

評価の観点の趣旨

a. 関心・意欲・態度	b. 話す・聞く能力	c. 書く能力	d. 読む能力	e. 知識・理解
国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

学習計画及び評価方法

第 1 学 期									
月	単元名	教材	配当時間	学習の目標	評価の観点				
					関心意欲 態度	話す聞く 能力	書く能力	読む能力	知識理解
4	新しい発見	なぜ“コロンブスの卵”を描くのか	2	<ul style="list-style-type: none"> 随想の読み方を習得する。 固定観念の持つ性質について理解する。 固定観念から自由になるための方法について考える。 	○		○	○	○
		新しい地球観	2	<ul style="list-style-type: none"> 随想的な要素を持つ評論の読み方を習得する。 筆者がオーサグラフ地図から受け取ったメッセージとはどのようなものかを考える。 さまざまな地図が形作る「世界の見方」について考える。 	○		○	○	○
5	小説を読む(一)	調律師のるみ子さん	3	<ul style="list-style-type: none"> 現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを習得する。 主人公の過去と、現在おかれた状況について整理し、その行動とのつながりを読み取る。 登場人物の心理を変化させた事物に着目し、小説全体の構造とねらいを理解する。 作者の別の作品と読み比べ、共通点や相違点などについて説明する。 	○	○	○	○	○
		デューク	4	<ul style="list-style-type: none"> 現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを習得する。 それぞれの場面における登場人物の言葉、行動から、その心情を読み取る。 最後の場面やその後の登場人物の心情について考える。 作者の別の作品と読み比べ、共通点や相違点などについて説明する。 	○	○	○	○	○
6	言語と文化	数え方で磨く日本語	3	<ul style="list-style-type: none"> 随想的な要素を持つ評論の読み方を習得する。 日本語のものの数え方の特徴について理解し、自らの言語生活に引きつけて考える姿勢を養う。 	○		○	○	○
		犬も歩けば棒に当たる	2	<ul style="list-style-type: none"> 随想の読み方を習得する。 諺の知識を豊かにする。 具体例と筆者の主張との関係を捉える。 一つの事象に対して複数の解釈の可能性があることを知り、自らも柔軟な発想で物事を解釈する姿勢を養う。 	○		○	○	○
7	言語活動	報告文（レポート）の書き方	5	<ul style="list-style-type: none"> 報告文（レポート）の書き方を習得する。 簡潔な表現で、具体的に正確な報告文を書く。 	○		○		○
		研究発表のしかた	3	<ul style="list-style-type: none"> 研究発表のしかたを習得する。 入念な準備に基づいて、整然と落ち着いて発表する。 	○	○			○
7	小説を読む(二)	相棒	3	<ul style="list-style-type: none"> 現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを習得する。 時間の経過に伴う登場人物の性格・心理・行動の変化を読み取る。 題名にこめられた意味について考え、発表する。 	○	○	○	○	○
		ナイン	3	<ul style="list-style-type: none"> 現代小説のおもしろさを味わい、読解のしかたを習得する。 小説の語り手の存在について意識しながら、全体の構成をつかむ。 作品の主題を理解し、人や人生に対する見方を深める。 作者の別の作品と読み比べ、共通点や相違点などについて説明する。 	○	○	○	○	○

【1学期の評価方法】

中間考査・期末考査・豆テストの結果、ワークシートへの取り組み状況、課題学習における感想文・鑑賞文・問題意識・発表や話し合いの仕方・学習に対する参加姿勢など、学習活動全般における学力の伸長や態度、姿勢を総合して評価する。

* 課題・提出物等

- ① 授業中に使用するプリントやワークシート
- ② 小説の読後の感想文等
- ③ 授業用のノート

第 2 学 期									
月	単元名	教材	配当時間	学習の目標	評価の観点				
					関心意欲 態度	話す聞く 能力	書く能力	読む能力	知識理解
9	人間と文化	花女房	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評論の読み方を習得する。 ・ 全体の構成を把握し、論の展開に即して正確に読み取る習慣をつける。 ・ 日本人の意識構造や、日本の伝統について、理解を深める。 ・ 東西の文化の相違について、新たな視点から認識を深める。 	○			○	○
		コミュニケーションの文化	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随想的な要素を持つ評論の読み方を習得する。 	○			○	○
10	小説を読む(三)	鼻	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近代の代表的な短編小説を読解する。 ・ 内供の人物像や心情の変化を読み取る。 ・ 小説世界を自己のものの見方や考え方に引きつけて考える。 ・ 作者の別の作品と読み比べ、共通点や相違点などについて説明する。 	○	○	○	○	○
		こころ	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近代の代表的な長編小説を読解する。 ・ 登場人物の性格・心理・行動を読み取り、その変化をつかむ。 ・ 登場人物の生き方と、自己の生き方とを対比して、考えたことを自分の言葉でまとめ発表する。 	○	○	○	○	○
11		ひよこの眼	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の短編小説を読解する。 ・ 語り手の視点を意識し、登場人物の心理の変化を読み取る。 ・ 小説の主題に迫り、「他者との関わり方」「自己発見」などについて考える。 ・ 作者の別の作品と読み比べ、共通点や相違点などについて説明する。 	○	○	○	○	○
		出島のチューリップ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随想の読解のしかたを習得する。 ・ 筆者にとって浅田さんがどのような存在であり、現在どのような心境で当時を回想しているかを読み取る。 ・ 言葉の重さや、自分の心に残る風景について、自己に引きつけて考える。 	○			○	○
12	人生の風景	ワスレナグサ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 随想の読解のしかたを習得する。 ・ 文章の構成の特徴について理解する。 ・ 作品の主題に迫り、自然と人間のかかわりについて自らの考えをまとめ発表する。 	○	○	○	○	○

【2学期の評価方法】

中間考査・期末考査・豆テストの結果、ワークシートへの取り組み状況、課題学習における感想文・鑑賞文・問題意識・発表や話し合いの仕方・学習に対する参加姿勢など、学習活動全般における学力の伸長や態度、姿勢を総合して評価する。

* 課題・提出物等

- ① 授業中に使用するプリントやワークシート
- ② 小説の読後の感想文等
- ③ 授業用のノート
- ④ 夏休みの課題（読書感想文・課題集）

第 3 学 期									
月	単元名	教材	配当 時間	学習の目標	評価の観点				
					関心意欲 態度	話す聞く 能力	書く能力	読む能力	知識理解
1	社会と文化	クマを変えてしまう人間	3	<ul style="list-style-type: none"> 随想的な要素を持つ評論の読み方を習得する。 具体例が持つ意味を読み取る。 人間と動物の森づくりにおける方向性の違いを理解する。 人間がクマに与える影響について整理する。 人間が動物との望ましい関係のあり方について考察する。 	○		○	○	○
		大量生産の眩暈	2	<ul style="list-style-type: none"> 随想的な要素を持つ評論の読み方を習得する。 本文の構成に注意しながら、筆者の考察がどのように展開しているのかを把握する。 大量生産に関わる筆者の認識を通して、現代社会と人との関係に対する理解を深める。 	○		○	○	○
2	小説を読む(四)	山月記	4	<ul style="list-style-type: none"> すぐれた短編小説の持つ緊密な構成を理解し、鑑賞法を習得する。 漢文脈を駆使した独特の表現を理解する。 主人公の変身にこめられた意味を考え、この小説の主題をまとめ発表する。 原話の『人虎伝』や他の変身譚と読み比べ、共通点や相違点などについて説明する。 	○	○	○	○	○

【3学期の評価方法】

学年末考査・豆テストの結果、ワークシートへの取り組み状況、課題学習における感想文・鑑賞文・問題意識・発表や話し合いの仕方・学習に対する参加姿勢など、学習活動全般における学力の伸長や態度、姿勢を総合して評価する。

* 課題・提出物等

- ① 授業中に使用するプリントやワークシート
- ② 詩の読後の感想文等
- ③ 授業用のノート

2023年度「高等学校 国語表現」シラバス

1 科目の概要及び目標

- (1) 文章を的確に表現し、適切に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
- (2) 思考力や想像力を伸ばし心情を豊かにする。
- (3) 言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を高める。
- (4) 国語を尊重し、その向上や社会生活の充実を図る態度を育成する。

2 成績評価

- (1) 定期考査の成績 (60%) 定期考査においては、知識・理解に偏ることなく、適切に表現し、まとめるための問題も出題する。
- (2) 学習態度等の平常点 (40%) ①各単元や各時限などの学習過程で、生徒の良い点や、進捗状況などを評価する。 ②課題の提出状況・小テストの成績
上記、(1)、(2)の状況を踏まえ、総合的に評価する。

3 使用教科書・副教材

(1) 教科書(大修館書店)「国語表現」改訂版

4 授業の目標及び展開と形態

- (1) 適切に表現し的確に理解する能力の育成を目指す。
- (2) 話したり書いたりすることを通して、自分の考えを論理的に述べる力を養い育てる。
- (3) 情報を収集し活用して自分の考えをまとめ、発表したり話し合ったりする学習活動の場と機会を積極的に与える。
- (4) 話し方や言葉遣い、文章の形式、常用漢字の読み書きなど、基本事項を身につける。
- (5) 国語の表現の特色を知る。

5 学習方法

授業は教科書を中心に進める。適宜、発表や討論、調査したことを整理して、解説や論文などにまとめたります。

6 シラバス

学期	月	教科書単元名	教科書教材名	領域(時間)			主な学習の目標 (評価規準)	評価の観点					評価方法等	
				聞 く こ と (A)	書 く こ と (B)	読 む こ と (C)		関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	話 す ・ 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 解		
一 学 期	四月 ～ 五月	声のコミュニケーション	言葉のストレッチ体操	1			・聞くこと、話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションについて新たな発見をする。 ・コミュニケーションの楽しさを感じる。	○	◎					・観察・ワークシート ・相互評価、自己評価
			ショートスピーチをしよう	2			・話すことの順序を考えて、わかりやすいスピーチをする。話し手が話しやすい聞く態度を心がける。	○	◎	○				・観察・ワークシート ・相互評価、自己評価
			表現への扉5	1			コミュニケーションについて書かれた文章を読み、自分の表現に生かす。	○	○	○	○	○		・ワークシート ・小テスト・定期テスト
	五月	書いて伝える	1 整った文を書く			10	・主述の関係、副詞の呼応、文末表現の統一、話し言葉と書き言葉の違いなど、整った文を書くために大切なことを理解する。 ・長すぎる文を避け、わかりやすい文にする方法を理解する。 ・読点を適切に打ち、あいまいな文を避けることの大切さを理解する。 ・接続表現の種類と働きを理解する。	○	◎	◎				・ワークシート ・小テスト・定期テスト
			2 わかりやすい文を書く				・文脈による文のつながりを理解する。 ・図や写真を見て文章を書き、相手に伝わる文章を書くために必要なことを理解する。 ・相手に伝えることを意識してわかりやすい文章を書く。	○	◎	◎			・ワークシート ・小テスト・定期テスト	
			3 文のつながり方				・単元1の学習内容を確認し、知識を定着させる。 ・原稿用紙(縦書き・横書き)の使い方を確認する。	○	◎	◎			・ワークシート ・小テスト・定期テスト	
			4 絵や写真を見て書く					○	◎	◎			・ワークシート ・小テスト・定期テスト	
			実践トレーニング(1)					○	◎	◎			・ワークシート ・小テスト・定期テスト	
	六月 ～ 七月	自己PRと面接	1 自分を見つめて	1	2		・経験から得たことや学んだこと、自分の長所などを考える。 ・他者の意見を聞いて、自分の長所を見つける。	○	○	○				・観察 ・相互評価、自己評価
			2 効果的な自己PR			3	・自分の長所を端的に表現した、印象に残るキャッチフレーズを作る。 ・事実やできごとをふまえて、効果的な自己PRをする。	○	◎	◎				・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価
			3 将来の自分を考えよう			3	・就きたい職業に就くために必要なことを調べる。 ・調べたことをふまえて、「将来の自分」について文章にまとめる。	○	◎	◎	○	○		・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
			4 志望動機をまとめよう			3	・志望先について十分な情報を集める。 ・調べたこと、やりたいこと、自己PRの三つを結びつけ、説得力のある志望動機を書く。	○	○	◎	○	○		・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価
			履歴書の書き方			2	・自己PR、志望動機を履歴書に書く。			◎				・観察 ・ワークシート ・作品 ・発表 ・相互評価、自己評価
			1 相手や場面に応じた会話	2			・場面にふさわしい言葉遣いを考える。 ・適切な言葉遣いでロールプレイをする。	○	◎					・観察 ・ワークシート ・相互評価、自己評価
	自己PRと 面接	5 面接にチャレンジ	3			・適切な言葉遣いや態度で面接の受け答えをする。 ・質問に対して、具体的に説得力のある答え方をする。	○	◎					・観察 ・相互評価、自己評価	
		実践トレーニング(2)	3			・表記や係り受けなど、文を書く上での基礎を押さえられているか確認する。 ・具体的なシーンを想定し、場面にあった言葉遣いや態度を確認する。		◎	◎	○	○		・ワークシート ・小テスト・定期テスト	
	二 学 期	十月	小論文・レ ポート入門	1 小論文とは何か			4	・小論文の基本的な書き方を理解する。・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。	○	◎	◎			・ワークシート・作品 ・小テスト・定期テスト
				2 反論を想定して書く			3	・自分の意見とは対立する意見を考慮しながら書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	○	◎	◎			・ワークシート・作品 ・小テスト・定期テスト
4 発想を広げて書く						3	・発想を広げるための方法を理解する。 ・発想を広げるための方法を活用して、小論文を書く。	○	◎	○	○		・小テスト・定期テスト	
十一月		メディアを駆 使する	1 通信文を書き分ける			4	・さまざまな通信文の形式を理解する。 ・相手や目的に応じて適切な形式を選び、通信文を書く。	○	◎	◎			・ワークシート・作品 ・小テスト	
			2 電話を使いこなす			2	・初対面や目上の相手に対する電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣いや対応のしかたを理解する。	○	◎				・観察 ・ワークシート	
			3 ネット社会とコミュニケーション			1	・ネットを用いたコミュニケーションの特長と使用する上での留意点を理解する。 ・電子メールを活用する上でのエチケットを理解する。	○	◎	◎			・小テスト ・作品 ・ワークシート	
十二月		12月	会話・議論 発表	議論・プレゼンテーション			8	・テーマに沿って建設的に議論する。・視覚的資料を使いながら効果的にプレゼンテーションする。	○	◎	○			・観察 ・ワークシート ・作品 ・相互評価、自己評価
三 学 期		月 二 日	表現を楽し む	エッセイを書こう			8	・着地点、構成、文体、表現などに留意しながら様々なエッセイを読み味わう。読んだエッセイを参考に、効果的な表現を工夫しながら自分のエッセイ(自分史)を書く。	○	◎	○	◎		・作品 ・相互評価、自己評価 ・卒業テスト